

さとう ともえ
佐藤 智恵さん

株式会社 森組 1級とび技能士

1975年生まれ、帯広市出身。滋賀県の紡績工場勤務を経て1995年に帯広へUターン。同年、建築会社に入社し、とび、土工事を担当。この間に結婚、出産。2009年から現在の森組に勤務。2017年、十勝で女性初となる1級とび技能士試験に一発合格。



“ものづくり”の楽しさを広めたい

きっかけ

滋賀県にある紡績工場に就職したものの、やっぱり地元で働きたいという思いが日々強くなり、帯広へ帰ることにしました。帰ってきたところまでは良かったのですが、やってみたい仕事もなく、もともと体を動かすことが好きだったこともあり、母親と夫が勤務していた建築会社に就職することになりました。実際どんな仕事をしているのか具体的には知りませんでしたし、母親からも「大変だよ」と言われたのですが、まずはやってみようと思って。建築関係の知識がないため慣れるまでは大変でしたし、材料運びなどは重労働で最初のうちは筋肉痛との戦いで、あざも沢山できました。体を動かすのが好きというレベルの仕事ではなかったです（笑）

苦勞

働き始めたときはとにかく辛くて、辞めたいと思う時もありましたが、職場の仲間と働くのはとても楽しく、苦勞よりも良い思い出の方が多いです。一番大変だった時期は子供が小学校に入学するまでかな。仕事と育児の両立は体力的にも本当に厳しく、朝7時に託児所に預けて現場へ向かうのですが、託児所から「熱が出たので迎えに来てください」と連絡があって、現場からとんぼ返りをした時もありました。同じ会社に勤める母と夫は、大変さを理解してくれて協力してもらえましたが、会社の上司や同僚の理解と支えがあったから、大きな怪我や病氣もせずに、ここまで勤めることができたと思います。皆さんには本当に感謝です。

満足度

2009年から森組に勤めることになりましたが、社員のスキルアップを積極的に支援していて、これまでの経験や知識を活かすようにと、私も1級とび技能士の取得を目指すよう背中を押されました。懸命に練習した甲斐もあって1回で合格することが出来ました。合格したときは素直に嬉しく、受験して良かったと思っています。今後は上級資格である基幹技能士を取得するように会社からの期待をかけられていてプレッシャーですね（笑）

また、施工現場が完成した時の達成感は大きいです。どの現場でもそうですが、チームで力を合わせて成し遂げた建物は愛おしい気持ちになります。

これから

仕事面では、新たな資格を取得するという課題もありますし、私が教えられる技術などは後輩の指導に活かし、技能五輪出場を目指して欲しいです。育てていただいた会社への貢献も私の役目だと感じていますので、少しずつ取り組んでいき、みんな仲良く楽しく働いていけたらと思っています。

仕事以外では、香りに興味があったこともあり、自分や家族の癒しのためにアロマセラピーについて勉強し、昨年の11月にアロマセラピー1級の資格を取得しました。次はハンドセラピーの資格を取得することが目標で、毎日コツコツ勉強しているところです。どちらも頑張っていきたいです。

建設業は“男性社会”のイメージがあると思いますが、達成感が味わえて、とても充実しています。業界全体の女性の割合が増えれば、女性ならではの目線や気配りを活かしたより魅力的な職種になると思うので、是非この仕事に携わって欲しいです。